

令和 6 年 5 月 2 日
札幌開発建設部

みんなで洪水からまちを守る「総合治水」

～国と道、市が連携して進める総合治水を学ぼう～

北海道開発局、北海道、札幌市、石狩市は連携して、総合治水に関するパネル展示及び現地視察会を実施しますのでお知らせします。

総合治水は、都市型水害に対し、流域が一体となって洪水に備える取組です。普段何気なく使っている学校や公園にも大雨の時に川の増水を防ぐため、雨水を貯める機能が備わっています。いざというときに備えて、身近にある総合治水の取組について学びませんか。

北海道開発局、北海道、札幌市、石狩市は、近年の降雨量の増大と水害の激甚化・頻発化に備え、集水域から氾濫域にわたる流域の住民、企業等を含むあらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」を推進しています。

札幌市北部および石狩市にまたがる伏籠川等の流域は、低平地であることに加え、市街化が進んだことで洪水流出量が増大し、度々洪水被害に見舞われてきました。このことから、昭和55年より洪水被害の軽減を目的に、河川・下水道・宅地開発等に関わる流域の関係機関が一体となって洪水に備える取組として、「流域治水」に先駆けて「総合治水」に取り組んできました。

身近にある総合治水対策等の取組について多くの方に知ってもらい、防災・減災意識の向上に資することを目的としたパネル展示及び現地視察会を実施します。

あわせて、7月8日～12日に日本で初めて開催される第9回全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議（The 9th GEWEX-OSC）※のパネル展示も実施します。

※ 地球温暖化問題に対する緩和策と適応策の立案及びそれに向けた気候変動の将来予測といった喫緊の課題について、当該分野で国際的に活躍する世界各国の関係者が集結し、最新の研究成果や取組を共有して議論する場です。日本での開催は札幌が初めてとなります。

記

1 パネル展示

【開催日及び会場】

- 令和6年5月10日(金)～27日(月) 一般国道230号公共地下歩道
(北1条地下駐車場となり)
- 令和6年5月15日(水)～21日(火) 札幌地下街オーロラコーナー
- 令和6年5月 7日(火)～10日(金) 石狩市役所1Fロビー

2 現地視察会

【内 容】総合治水施設の現地視察

【開催日時】令和6年6月22日(土) 9:00～16:00(小雨決行)

【見学場所】川の博物館(弁天丸乗船)、望月寒川放水路 など

【対 象】小学校4年生～6年生とその保護者(実施要領は別紙のとおり)

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

流域治水対策専門官 宮下 綾太(電話番号 011-611-0329 ダイヤルイン)

河川計画課 治水専門官 中西 淳(電話番号 011-611-0329 ダイヤルイン)

札幌開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>



あなたとまちを守っている 見えない傘がある。

総合治水推進週間

2024年5月15日(水) → 21日(火)

みなさんが通う学校や公園などは、大雨の時に、雨水をためる役割を持っています。

田や畑が少なくなり、街が大きくなると、これまでに土に浸み込んでいた雨水が直接、川にながれこむようになり、洪水がおこりやすくなります。このようなことを防ぐために、地域が一緒に協力してさまざまな対策を行うことを

そうごうちすい
「総合治水」といいます。



ふしこ
伏籠川流域総合治水対策協議会の構成 北海道開発局 北海道 札幌市 石狩市

2024年
パネル展 開催

一般国道230号公共地下歩道
(北1条地下駐車場となり)

5月10日(金)～5月27日(月)

札幌地下街オーロラコーナー

5月15日(水)～5月21日(火)

石狩市役所 1Fロビー

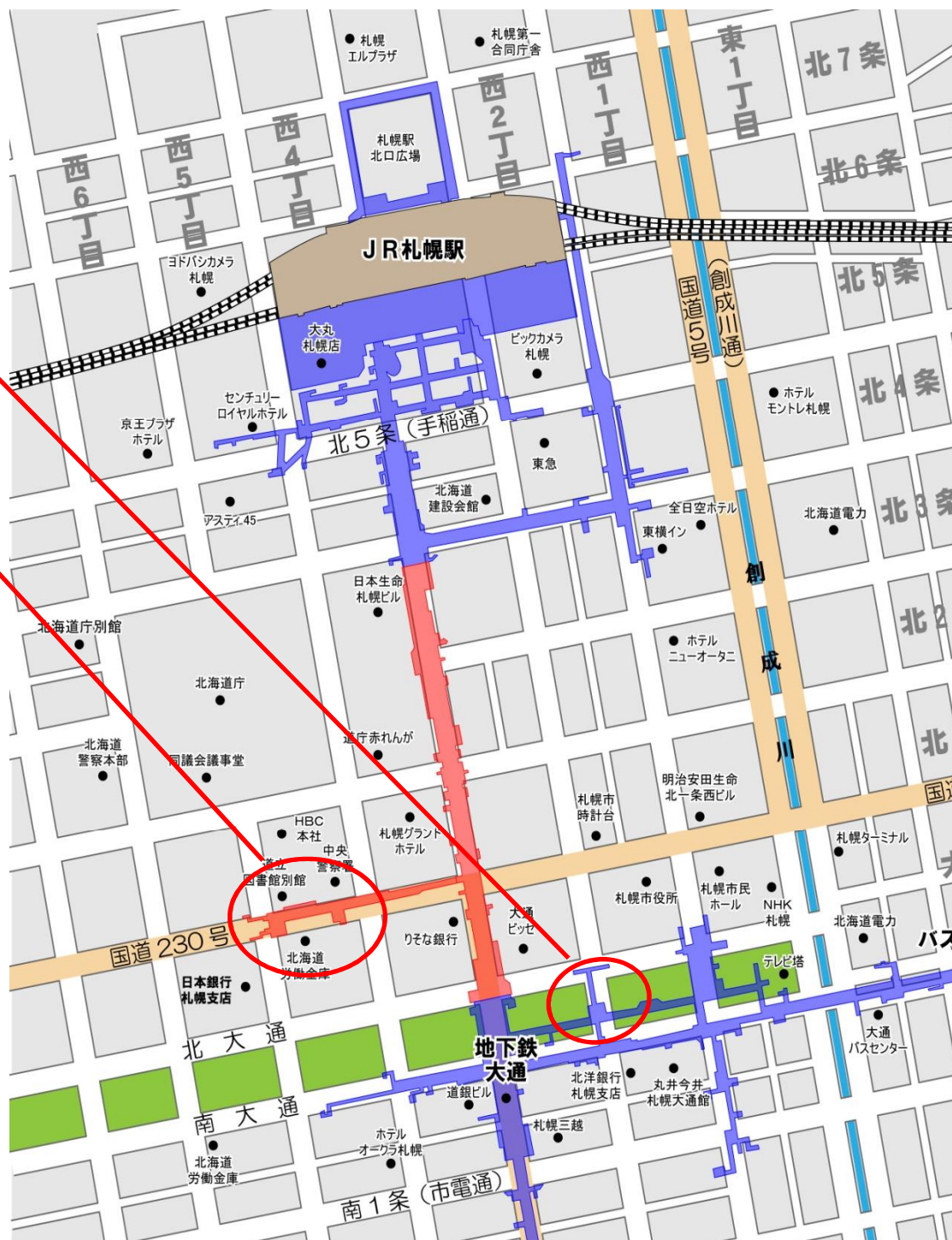
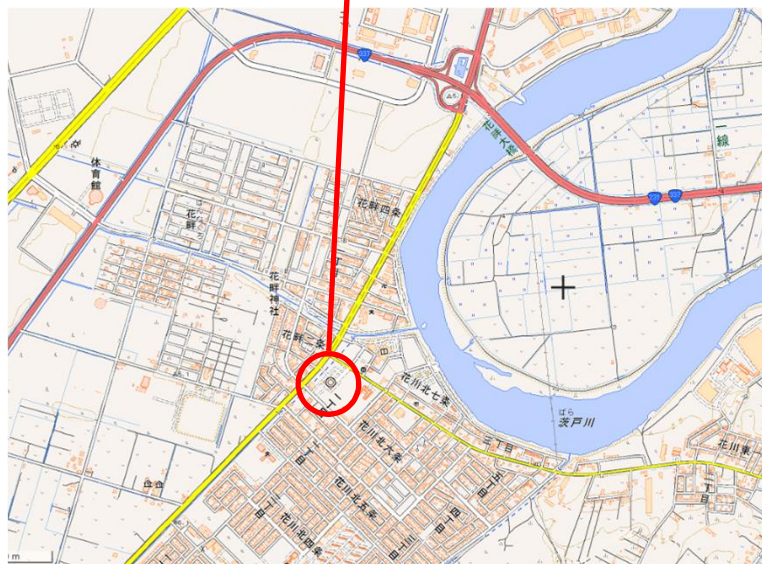
5月 7日(火)～5月10日(金)

2024 総合治水推進週間 パネル展 開催場所

札幌市地下街
オーロラコーナー
【オーロラタウン】
令和6年5月15日(水)～21日(火)

一般国道230号
公共地下歩道
【チ・カ・ホ直結】
令和6年5月10日(金)～27日(月)

石狩市役所
令和6年5月7日(火)～10日(金)



総合治水推進週間 現地視察会

参加
無料

日時

2024年6月22日(土)
9:00~16:00(小雨決行)

集合場所

北区民センター及び石狩市役所
(解散場所も同じです)

見学場所

川の博物館(弁天丸乗船)
望月寒川放水路など

募集対象

小学校4年生~6年生とその保護者
定員40人

お申込み先

下記QRコード(MicrosoftForms)
よりお申し込みをお願いします。



お問い合わせ先

「現地視察会実行委員会」
事務局

(札幌開発建設部 河川計画課)

TEL:011-611-0329

みなさんが通う学校や公園などは、
大雨の時に、雨水をためる役割を
持っています。

田や畑が少なくなり、街が大きくなると、
これまでに土にしみ込んでいた雨水が直接、川にながれ
こむようになり、洪水がおこりやすくなります。
このようなことを防ぐために、地域が一緒に協力して
さまざまな対策を行うことを

そう ごう ち すい
「総合治水」といいます。

2024年の総合治水推進週間は
5月15日(水)~21日(火)です。



ふしと
伏籠川流域総合治水対策協議会の構成
北海道開発局 北海道 札幌市 石狩市

川へ行こう! 川を愛しよう!
かわたび
ぽっかいどう
KAWATABI HOKKAIDO



2024年 総合治水推進週間現地視察会

近年の降雨量の増大と水害の激甚化・頻発化に備え、集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」を推進しています。

札幌市北部および石狩市にまたがる伏籠川等の流域は、低平地であることに加え、市街化が進んだことで洪水流出量が増大し、度々洪水被害に見舞われてきました。このことから、昭和55年より洪水被害の軽減を目的に、河川・下水道・宅地開発等に関わる流域の関係機関が一体となって洪水に備える取組として、「流域治水」に先駆けて「総合治水」に取り組んできました。

身近にある総合治水等の取組を学べる現地視察会を行います。

現地視察会実施要領

参加費
無料

■主催／現地視察会実行委員会

(北海道開発局・北海道・札幌市・石狩市)

■見学場所／

- ・川の博物館（弁天丸乗船）
- ・望月寒川放水路
ほか

※見学場所、見学順序は、天候等により
変更する場合がございます。

■対象／小学校4年生～6年生と その保護者(定員:40人)

※保護者又は引率者同伴でご参加ください。

※昼食は各自ご持参ください。

※移動中のバス車内にて昼食となります。

■集合／①北区民センター 午前9時00分

(駐車スペース 無)

②石狩市役所 午前9時30分

(駐車スペース 有)

※希望の集合場所をお選びください。

※北区民センターは専用の駐車スペースがございません。

※集合場所からはバスに乗って見学場所へ移動します。

※当日は汚れてもよい服装でお越しください。

■解散／①北区民センター 午後3時30分

②石狩市役所 午後4時00分

※集合場所での解散となります。

※解散時間については、多少前後する場合がございます。

弁天丸とは...

川の流れや水質を調査するとともに、水辺環境の把握を行うため
札幌開発建設部で保有している調査船です。

■お申し込み方法／

QRコード(MicrosoftForms)より
お申し込みをお願いします。

URL:
<https://forms.office.com/r/KFcUMLN3xP>



■応募締め切り／《5月30日(木)必着》

※定員を上回るお申し込みがあった際には、抽選にて参加者を選
定させていただきます。

抽選結果は後日メールにてご連絡させていただきます。

●お問い合わせ／

「現地視察会実行委員会」事務局
(札幌開発建設部 河川計画課)

TEL: 011-611-0329

※『～@mlit.go.jp』のドメインより、現地視察会に関する
ご連絡をさせていただきますので受け取れるよう設定
をお願いいたします。



弁天丸

集合場所 [北区民センター]



集合場所 [石狩市役所]



伏籠川総合治水対策事業

総合治水対策とは

流域の急激な都市化による雨水などの流出増などに対して行われる治水対策のことです。増加する人口や市街地化などで、都市部を流れる川を取り巻く環境が激変し、「総合治水」という発想が生まれました。

伏籠川流域では全国に先駆け、昭和56年より、「伏籠川流域整備計画」に基づいて治水上の安全を確保することを目標に各種対策を実施しています。

市街地化による保水・遊水機能の低下



雨水の大半は地中に浸透したり、水田や田に貯留され、下流への流出は抑えられます。

地表がコンクリートやアスファルトで覆われ、森林や田畑がなくなることによって下流への流出が増加し、氾濫被害が増加します。

1 河道整備



河道拡幅等により、洪水を速やかに流下させ、河川の氾濫を防ぎます。

2 放水路



石狩放水路のしくみ



洪水時には、運河水門を閉めて石狩川の高い水位の影響を断ち、伏籠川流域の洪水を石狩放水路を通して安全に日本海へ放流します。



3 遊水地



モエ河遊水地の中は、モエ河公園として利用されています。

洪水時には、川を流れる水の一部をこの中に溜め込みます。川の流量が減るので下流は安全になり、遊水地に溜められた水は洪水が収まってから川に流します。

4 排水機場



市街地の低平地帯に溜まった水を、排水機場の強力なポンプによって川に流し、市街地の内水氾濫を防ぎます。

5 流出抑制 (学校・公園)



学校のグラウンドや公園に、敷地内に降った雨水を一時的に貯留し、一度に川に流れ込まないようにすることで洪水を防ぎます。

河川改修

- 河道整備 伏籠川・創成川・発寒川など
- 放水路建設 石狩放水路
- 遊水地整備 モエ河・発寒川など
- 内水対策 創成・雁来・茨戸 排水機場

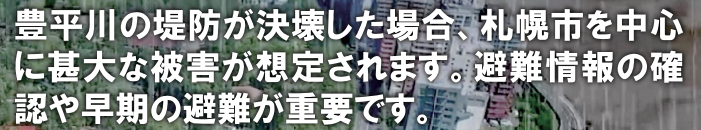
流域対策

- 保水地域 保水機能のある緑地・農地など
 - 市街化調整区域の保持
 - 流出抑制施設の整備
 - 雨水浸透機能の保全・促進
- 遊水地域 貯水機能のある河川に沿った低地
 - 市街化調整区域の保持
 - 盛土の規制
 - 流出抑制施設の整備
 - 耐水性建築の推進
 - 市街化調整区域における保水機能の保持
- 低地地域 浸水のおそれのある低地
 - 水防管理体制の強化
 - 総合治水の住民へのPR

その他

- 水防管理体制の強化
- 総合治水の住民へのPR

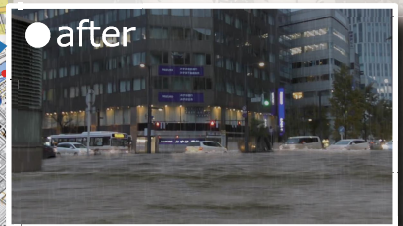
堤防決壊後の最大浸水範囲



堤防決壊から
120分後に
浸水



想定される
最大規模の降雨
406mm/72時間



札幌駅前



地下步行空間

※画像はすべてイメージ図



「【国土交通省北海道開発局】豊平川の氾濫—豊平川の堤防が決壊したら—」

9th GEWEX-OSC

2024 SAPPORO

第9回全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議
世界48ヵ国の科学者が札幌に集結！

2024年7月8日(月)～7月12日(金)

※会議前にも市民向けのプレイベントあり(詳細は裏面)

会場 京王プラザホテル札幌



日本語版ホームページ



English Website

一ご挨拶(開催趣旨)一

地球温暖化問題と気候変動の将来予測は、今、全世界で取り組まなければならない喫緊の問題です。

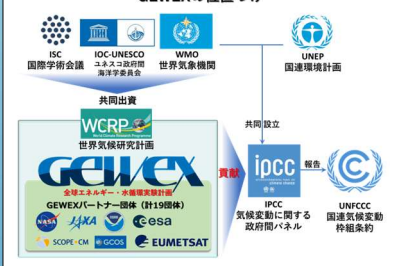
GEWEX-OSC(全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議)は、当該分野で国際的に活躍する世界各国からの研究者が集結し、全球スケール及び地域スケールでのエネルギーや水の挙動に関する最新の研究成果を共有し、議論する場です。GEWEX-OSCはおおむね2-5年に一度開催されており、日本での開催は2024年が初めてとなります。

気候変動への取り組みは、産官学に加えて国民・市民の皆さんの協力が必要不可欠です。本会議では、一般の方も参加できる国際会議にすることを目指しており、「市民講座」「若手研究者イベント」等を企画しております。これをもって、道民を始めとする国民全体の気候変動や防災への意識醸成につなげたいと考えています。

9th GEWEX-OSC 札幌実行委員会 委員長 山田 朋人

一GEWEXとは一

GEWEXの位置づけ



全球エネルギー水循環プロジェクト(Global Energy and Water Exchanges: GEWEX)は、国際学術会議(ISC)、世界気象機関(WMO)、ユネスコ政府間海洋学委員会(IOC-UNESCO)が共同出資している世界気候研究計画(WCRP)が進める中核プログラムの1つであり、1990年に国際事務局(International GEWEX Project Office)が設立されました。

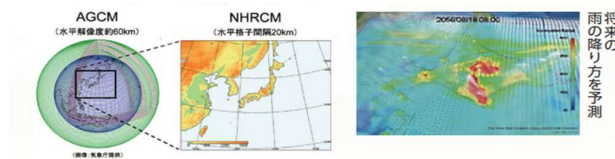
一札幌開催の意義一

我が国の水循環科学や気候変動に関する研究は世界を先導する水準にあります。これらの研究で確立された地球観測や数値シミュレーション等の先進技術と、研究によって得られた科学的な知見は、地球温暖化対策のための基盤情報・技術として未来の日本の社会づくりに貢献しており、これらの一連の活動は国連気候変動枠組条約会合(UNFCCC)で報告されました。

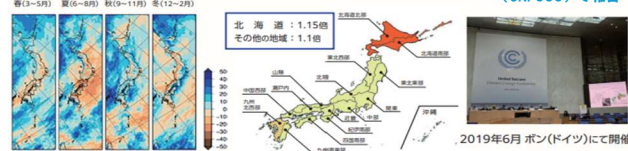
本会議では、日本が先駆的に進めてきた最新の研究と社会での応用事例を北海道・札幌から世界に向けて発信し、分野や地域の垣根を超えた高度な連携の機運を高めたいと考えています。

我が国で進めている先進的な研究の一例

アンサンブル気候データを用いた将来の降雨予測



季節ごとの降水量の将来変化「気候変動を踏まえた治水計画のあり方」国連気候変動枠組条約会合(UNFCCC)で報告



＜協賛企業＞

宇宙航空研究開発機構(JAXA) / 情報通信研究機構(NICT) / 一般財団法人 北海道河川財団 / 株式会社ドーコン / 岩田地崎建設株式会社 / 宮坂建設工業株式会社 / 伊藤組土建株式会社 / 株式会社中山組 / 東京建設コンサルタント株式会社 / 日本工営株式会社 / 八千代エンジニアリング株式会社 / 株式会社 建設技術研究所 / 東急建設株式会社 / JAMSTEC / 一般財団法人 石狩川振興財団 / 一般財団法人 北海道建設技術センター / 北海道建設業信用保証株式会社 / 株式会社 開発工営社 / 株式会社 リブテック / 草野野作株式会社 / 北土建設株式会社 / 株式会社 田中組 / 西江建設株式会社 / 株式会社 砂子組 / 株式会社 ニュージェック / 株式会社 構研エンジニアリング / 株式会社 ケイジー技研 / (一財)電力中央研究所 サステナブルシステム研究本部 気象・流体科学研部門 / (一社)日本建設業連合会北海道支部 / 大豊建設株式会社 / 株式会社 不動トラ

＜後援＞

世界気象機関(WMO) / 世界気候研究計画(WCRP) / 世界気象研究計画(WWRP) / アメリカ合衆国エネルギー省(DOE) / アメリカ航空宇宙局(NASA) / アメリカ大気海洋庁(NOAA) / 文部科学省 / 経済産業省 / 国土交通省 / 気象庁 / 北海道 / 札幌市 / 北海道経済連合会 / 建設コンサルタンツ協会 / SIP第3期課題「スマート防災ネットワークの構築」サブ課題B「リスク情報による防災行動の促進」 / 宇宙航空研究開発機構(JAXA) / 海洋研究開発機構(JAMSTEC) / 気象庁気象研究所(MRI) / 情報通信研究機構(NICT) / 電力中央研究所 / ジョージ・メイソン大学 / 香川大学 / 東京大学 / 東京大学 気候と社会連携研究機構 / 東京都立大学 / 横浜国立大学・台風科学技術研究センター / 土木学会 / 日本気象学会 / 日本雪氷学会 / 日本農業気象学会 / 日本地球惑星科学連合(JpGU) / 水文・水資源学会 / 東京地学協会 / 大気環境学会 / 地盤工学会 / 日本地理学会 / 土木学会北海道支部 / 日本気象学会北海道支部(予定含む)